

しる事長し文の教と観之と山所へり民部と観ひけり
ども同心者へりて中世と家かき書ありて事なきを
散せんと民部と同心へり一族ぬ多討所けり生怪傳
政事へり出され大坂一礼しことばよめむ手柄を伝
君はきけり百姓を事し能く徳を述懐の心出果服申法
けり江州へ年し里見ゆき郎と名乗るは族本と語り居
たりけりといひ嬰子の事ぞう

羽澤記巻之第四終